

平成 27 年度 事業報告（主な事業の概要）

〔総 括〕

平成 27 年度は東日本大震災から 5 年目を迎え、国の集中復興期間の最終年度にあたります。社会インフラの整備が進捗する中、被災者の新しい生活のための自主再建や災害公営住宅への移転が本格化し、仮設住宅の入居率が大きく減少するなど、被災者を取り巻く生活環境が大きく変化しています。震災以来取り組んできた被災者支援事業を通じ、震災前の普通の暮らしを取り戻すためには改めて「地域福祉」の大切さと重要性を認識し、次の 5 項目を重点事業として展開してきました。

（地域福祉活動計画の推進）

東松島市と共同で策定した地域福祉推進計画の実践として、被災者支援事業で培った経験を地域福祉の充実に活かすため、市内 3 つの日常生活圏域を担当するコミュニティーソーシャルワーカー（CSW）3 名を配置し、災害公営住宅等のモデル地区を中心に、地域に出向いて住民と顔の見える関係づくりに努め、地域での助け合い、支え合いを進めていくために、地域における課題を住民自らが身近に考え、住民の力を福祉のまちづくりに活かせる仕組みづくりに取り組みました。

（被災者の孤立防止策の強化）

被災者の生活環境の変化に応じた、寄り添い型の訪問活動の強化やお茶会活動支援の推進など、被災した住民の孤立防止や居場所づくりの支援に努めました。また、市制施行 10 周年・社協合併 10 周年を記念し、社会福祉活動の発展に功労のあった方々の顕彰と合わせ、地域福祉分野において先進的な取り組みをされている方々を招いて「社会的孤立を生まない地域づくり」をテーマにシンポジウムを開催するなど、社会的孤立問題についての意識の啓発に努めました。

（生活困窮者自立支援事業の充実）

生活困窮者自立支援法の本格施行に伴い、平成 26 年度からの国のモデル事業実施の経験を生かし、新たに家計相談事業を開始するなど、自立相談支援事業との一体的な実施体制を構築し、住民が抱えるあらゆる生活課題に対応するための相談体制の充実を図りました。また、他機関とのネットワークの構築を積極的に推進し、支援を要する住民が「制度の狭間」に陥ることのないような支援体制の構築に努めました。

（介護予防事業と認知症対策事業の強化）

市内各所において認知症サポーター養成講座を積極的に開催し、認知症に対する住民の理解促進を図りました。また認知症家族の会を立ち上げ、認知症の方を介護している当事者同士で悩みを相談し、交流を行うことで、孤立防止や介護負担の軽減を図るなど、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに努めました。

（組織マネジメントの強化）

社会福祉法人改革に伴う社会福祉制度の見直しに対応するため、新制度の理解促進と運営組織のマネジメントの強化に取り組みしました。

市制施行 10 周年・社協合併 10 周年記念
東松島市社会福祉大会 2015（平成 27 年 10 月 9 日・10 日）

《大会テーマ》「誰もが安心して笑顔で暮らせる“ささえあい”のまちづくり」をめざして

- 第 1 部 記念式典（社会福祉功労者顕彰）
〔表彰状 127 件、感謝状 65 件〕
- 第 2 部 記念シンポジウム〔参加者 283 人〕
テーマ「社会的孤立を生まない地域づくり」
- 第 3 部 災害ボランティア「振り返りの会」
スタディツアー（市内復興状況視察）
意見交換会〔県内外災ボラ経験者 51 人参加〕



地 域 福 祉 事 業

- 地域福祉推進委員会
「東松島市地域福祉推進計画」の進捗状況の評価及び計画推進〔開催回数：1 回〕

- 福祉のまちづくり事業
社協支部活動に対する助成事業〔81 件〕
主な活動：敬老会、敬老祝い金、お茶っこ会、育成会支援



- 地域福祉活動推進事業
市民協働のまちづくりと連携した事業の実施に対し、
交付金を交付〔対象：自治協議会 件数：2 件〕

- ふれあいのつどい
ひとり暮らし高齢者を対象とした日帰り交流事業
場所：仙台・秋保温泉「ホテルニュー水戸屋」
〔回数：3 回、参加者合計：259 人〕



- 夏休みのつどい
市内特別支援学級の児童と家族を対象とした日帰り交流事業
場所：南三陸方面〔参加者：4 家族〕

- キャップハンディ教室
「障害のある状態」を疑似体験し、障害者への理解を深めるための出前教室
〔小学校 3 校（222 人参加）、医療機関 1 施設（17 人参加）〕

- 学用品支給事業
特別支援学級設置校と支援団体等が共同で開催する「クリスマス学習会」
「卒業・進級を祝う会」に記念品を贈呈

- ボランティア・市民活動センター事業
登録団体 35 団体（454 人）
ボランティア活動支援助成事業 23 団体
ボランティア講座〔参加者 65 人〕
〔災害ボランティア入門、傾聴ボランティア入門
フリフリグッパ体操〕



■総合的学習支援助成事業

総合的学習の時間での調査・研究に対し、助成を行うもの。〔助成学校数：6校〕

■いったりかったりサロン・お休み処 湯楽里

老人福祉センターを会場とした高齢者交流イベント事業
(漫談(なんだこりゃ丸船長 袋小路ほら丸)映画上映・入浴施設開放等)

■東松島ふくしネットワーク事業

市内福祉事業所に所属する職員間の顔の見える関係づくり
「事業所職員対抗スポーツ大会」〔参加者：19法人 23チーム約150人〕

■企画調査広報事業

広報誌「ふれあいねっと」「ボランティア市民活動センターだより」〔年6回発行：全戸配布〕
東松島市社会福祉協議会のブログ

■赤い羽根共同募金 募金総額：3,981,819円(戸別、学校・イベント募金など)

※全額を宮城県共同募金会に送金

■歳末たすけあい運動 募金総額：346,514円(職域募金など)

※生活困窮者世帯 9世帯に全額配分

■福祉団体事務取扱

東松島市老人クラブ連合会〔36単位会、会員数約1,180人〕
東松島市遺族会〔会員数377人〕 東松島市身体障害者福祉協会〔会員数98人〕
東松島市介護支援すこやかクラブ〔会員数33人〕
東松島市民生委員児童委員協議会〔民生委員数66人・主任児童委員3人(定数79人)〕

生活支援事業

■生活困窮者自立促進支援事業

生活困窮者の自立のための相談支援事業
生活困窮者の家計相談支援事業
〔相談受付件数：109件〕

■生活福祉資金貸付事業

〔相談件数57件〕

■生活安定資金貸付事業

〔安定資金貸付10件
一時援護資金貸付：34件〕

■生活困窮者への援助物資の給付 51件

(内コープフードバンク提供物資の支援40件)

■介護保険関連事業

ケアマネ利用者数：月平均142人
ヘルパー利用者数：月平均77人

■日常生活自立支援事業(まもりーぶ)

判断能力が不十分な方に対する福祉サービス
利用援助、日常的な金銭管理等の支援
〔対象者：6人〕

■高齢者日常生活支援事業(移送サービス)

通院などが困難な方への交通手段の確保
〔登録人数：1人、稼働回数：47回〕

■老人福祉センター指定管理

機能回復訓練事業〔登録9人、22回開催〕
老人一般活動事業(各種教室)

〔ふっくら布ぞうりづくり〔10人〕
こけ玉づくり〔20人〕
3B体操教室〔26人〕〕

生活復興支援事業（被災者サポートセンター事業）

■仮設住宅・災害公営住宅訪問活動

〔訪問件数（仮設）27,984 件、（みなし仮設）504 件、（災害公営）7,465 件〕

■地域支援活動

仮設団地集会所等でのお茶会・創作活動

〔開催 293 回、参加者：延べ 6,642 人〕

■音無美紀子の歌声喫茶

まちづくり協議会や市民センターの共催による被災者支援事業

〔4 会場、参加者 290 人〕



■仮設住宅高齢者交流会

仮設住宅高齢者の日帰り交流事業

岩手県一関 山桜桃の湯、巖美溪〔153 人〕



■子ども支援プロジェクト

復興支援事業を通じた東松島市と日光市の
高校生の住民交流事業

〔交流会 5 回
参加学生 449 人 参加住民 約 430 人〕



■こころと体のケア事業

看護師による仮設住宅等訪問事業

〔業務委託先〕

一般社団法人日本て・あーて，TE・ARTE，推進協会
医療社団法人 KNI（北原クリニック）

地域包括支援センター事業

■介護予防事業／包括的支援事業／包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

■東松島市キャラバン・メイト協議会事務局

認知症サポーター養成講座講師役（メイト）の
情報交換の場づくり、スキルアップ研修会開催等



■認知症サポーター養成講座

〔講座開催数 23 回、サポーター数 475 人〕

■認知症家族の情報交換会

〔実施回数 6 回 参加延べ人数 55 名〕

■東松島市高齢者 SOS ネットワーク

■地域介護予防活動支援事（いきいきほっとサロン）

高齢者を対象とした小地域サロン事業

〔23 地区、延べ 5,723 人〕

